

私のすすめるこの「1」冊

中峯 浩（産業技術科学科 准教授）

政局と天候が異常ですか？

私の特徴：読書するとき、1冊を通読することは少ない。2冊以上を併読することが多い。

水木しげる著 「総員玉碎せよ！」

戦争やテロのニュースは、毎日のように流れる。しかし、本当に凄惨な映像というものはあまり流されていない。湾岸戦争のころからか、メディアでは戦争の報道にしても、いかに顧客の興味をそそれるかを考えて構成しているかのようである。今年の夏は確かに記録的に暑かった。メディアでは、そのことばかり述べている。実際にはつる草に覆われた気温計で計測された温度にもかかわらず、公式発表であるからという理由でメディアは確認もせずに報道している。65～70年前の日本を思い出す（私は生まれていませんが）。戦争を知らずに僕らは育ちましたが、戦争の話はたくさん聞きました。いま、戦争の話をするのが少なくなった時代。せめて、世界に誇れる漫画文化をもった日本で生まれたこのコミックは読んでほしいと思う。

東野圭吾著 「名探偵の掟」

ガリレオ、この名前を知らない者はいないだろう。東野圭吾が著した「ガリレオ」。映画化もされたヒット作だ。映画はもちろんTVシリーズも録画して鑑賞した。なにより謎解きのスリルを主人公と同じ視線で楽しめる良作であると思う。その東野圭吾が、何とも言えないコミカル？いや気まぐれに書いたと思われる短編集が「名探偵の掟」である。主な登場人物は、名探偵・天下一大五郎と警察関係者・大河原番三の両名。すなわち、横溝正史シリーズや2時間サスペンスドラマの「掟」ともいべき黄金コンビが活躍する。したがって、この本を読めば推理ものの定番について一通りの知識が身につく仕掛けだ。解説が素晴らしい。なぜって、天下一さんと大河原さんが作品の中で自分たちの考えを読者に語りかけてくれるのである！

これら2作品は趣の異なるものである。しかし、前者では戦局の全体が見える人の不在、後者ではストーリーの全体が見える人の存在という隠しテーマがあるのではないか。この世の中、大局を見極められる人々の存在が必要なのであろう。

『総員玉碎せよ！』 著者：水木しげる 発行者：講談社 発行年：1995年

ISBN：9784061859937 700円 購入手続き中

『名探偵の掟』 著者：東野圭吾 発行者：講談社 発行年：1999年

ISBN：9784062646185 619円 購入手続き中

図書館からのお知らせ

第 15 回教科書展

暫定教科書編 ー折りたたみ教科書に見る戦後教育の幕開けー

第 15 回教科書展を以下の通り実施します。

日時：平成 22 年 11 月 5 日(金)～11 月 25 日(木)

10：00～16：00

日祝日を除く。但し、11 月 14 日(日)は藤陵祭のため教科書展のみ開館

場所：附属図書館 1 階ロビー

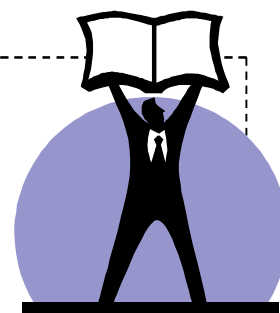
◆暫定(ざんてい)教科書とは？

第二次世界大戦後の新しい教育方針に基づいて、文部省による検定教科書が使用されるまで暫定的に使用された教科書を指す。新聞紙大の紙に印刷され、裁断・製本せずに配布されたものを折りたたんで使用したため、「折りたたみ教科書」とも呼ばれた。

詳細は次号の図書館ニュースでご紹介します。ぜひ教科書展にお越し下さい。

アドバイス！

大学間の相互利用サービスを活用しよう



Q. 必要な資料が京教大の図書館にない場合はどうしたらいいですか？

A. そんなときは、他大学の所蔵資料の相互利用サービスを活用しましょう。

①雑誌論文など、必要な箇所が資料全体の一部分であるとき

→文献複写サービスを利用すれば、必要箇所のコピーを取り寄せることができます。

(複写料と送料が自己負担になります)

②図書 1 冊を読みたいとき

→図書借用サービスを利用すれば、京教大図書館に取り寄せることができます。

(往復送料が自己負担となります。館外貸出はできません)

③近くの大学図書館に見に行きたいとき

→京教大の図書館カウンターにご相談ください。取り置きをお願いできる場合もあります。

(事前連絡が必須の大学もあります。いきなり訪問しないようにしましょう)

※出版年が比較的新しい日本語の図書ならば、公共図書館が持っている場合もあります。

近くの府県立図書館や市立図書館の OPAC も検索してみましょう。

その他、わからないことがあれば、図書館職員にお尋ねください

カウンターでの相談はできるだけ平日 17：00 までをお願いします

メールでの問い合わせはこちら→library@kyokyo-u.ac.jp

論文検索収集法講座を開催します！

レポート・論文の資料集めをもっと効率的にしませんか？

雑誌論文の検索データベース「CiNii(サイニー)」を使って、論文の探し方や入手の仕方を教える講座を開催します。パソコンを使った実習付きで、希望者には、論文資料を実際に手に取るまでを体験する「探索実習」オプションも追加できます。これからレポートや論文を書こうという方、ぜひご参加ください！

開催場所：附属図書館

所要時間：約 30 分(探索実習オプションを付けると、計 60 分程度)

開催日時：

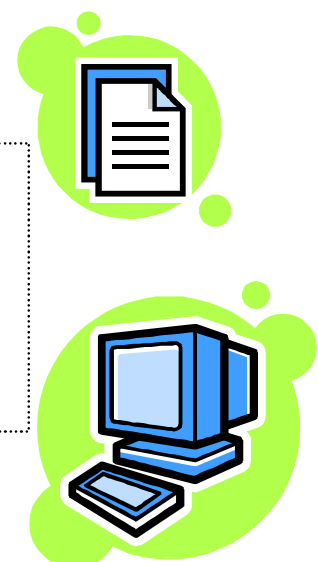
<2010 年 10 月>

10 月 8 日(金) 11:30~
 10 月 13 日(水) 15:00~
 10 月 19 日(火) 15:00~
 10 月 21 日(木) 11:30~
 10 月 25 日(月) 11:30~
 10 月 27 日(水) 15:00~

<2010 年 11 月>

11 月 2 日(火) 11:30~
 11 月 4 日(木) 15:00~
 11 月 17 日(水) 15:00~
 11 月 19 日(金) 15:00~
 11 月 22 日(月) 15:00~
 11 月 25 日(木) 11:30~

上記の日時で都合がつかない場合は、ご相談下さい。



各回 4 名までです。メールまたはカウンターにてお申し込みください。

ただし、人数に余裕があれば当日の参加も可能です。図書館 1 階カウンターにお越しください。

問い合わせ先：library@kyokyo-u.ac.jp 情報サービス担当：角野

長期貸出の返却期限日は 10 月 4 日(月)です

夏季休暇に伴う長期貸出の返却期限日は 10 月 4 日(月) です。忘れず返却してください。

長期貸出図書は返却期限日の延長ができません。一旦返却して、翌日以降貸出の手続きを取って下さい。

～ 図書館開館スケジュール ～

2010 年 10 月

日	月	火	水	木	金	土
					●	▲
3	4	5	6	7	8	9
休	●	●	休	●	●	▲
10	11	12	13	14	15	16
休	休	●	●	●	●	▲
17	18	19	20	21	22	23
休	●	●	●	●	●	▲
24	25	26	27	28	29	30
休	●	●	●	●	●	▲
31						
休						

2010 年 11 月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	●	●	休	●	●	▲
7	8	9	10	11	12	13
休	●	●	休	●	●	▲
14	15	16	17	18	19	20
休	●	●	●	●	●	▲
21	22	23	24	25	26	27
休	●	休	●	●	●	▲
28	29	30				
休	●	●				

<カレンダーの見方>

日付	9:00~21:00
●	
日付	9:00~17:00
▲	
日付	休館日
休	

10 月 6 日、11 月 10 日は館内整理のため休館

“プログラミング教育における反復学習を取り入れた授業方式”

多田知正、丸田寛之

多田知正 (産業技術科学科 講師)

京都教育大学紀要 No. 116 p. 123-134 2010年3月

「コンピュータ、ソフト無ければただの箱」と言われますが、最近は日常的にパソコンを使っている人でも、自分でソフト(プログラム)を書くというケースは非常に少なくなっています。一度もプログラムを書いたことが無いという人も大勢います。しかし、プログラムがなければコンピュータは動かないわけですから、情報システムが社会基盤となっている現在、プログラムを書ける人をどうやって育成するかというのは重要な課題です。

現在行われているプログラミングの授業の一般的なやり方では、まずプログラミング言語の文法についての説明があった後、実際にプログラムを作成する課題が出されて実習が行われます。しかしこの時、何もできずに手が止まっている受講生が多いのです。そのうち切が近づいてきて、最後には訳も分からないまま友達のプログラムを丸写しして提出。これでは何のために実習をしているのかわかりません。これは、プログラミング言語の文法を理解することと実際にプログラムを書くことの間には難易度のギャップがあることを意味しています。身近な例で言えば、英文法の説明を聞いたあとにいきなり英語で作文をさせられるようなものです。

本稿では、プログラミング教育において、限られた実習時間を有効に活用するために、反復学習を取り入れることを提案し、実際のプログラミングの授業で実践した結果について報告しています。反復学習とは漢字や計算のドリル学習と同様に、同じような問題を何度も解くことによって、知識の定着をはかる学習方法です。プログラムの中でよく使われるパターンをあらかじめ反復学習で頭に入れてからプログラミング実習に取り組むことで、実習時に手が止まってしまう状態になるのを防ぐことができると考えました。授業実践では、反復学習を取り入れたクラスとそうでないクラスで作成されたプログラムの内容を比較したところ、一部の課題について、反復学習による効果が認められました。

本タイトルの論文は京都教育大学紀要 116号に掲載されています。

後日、京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/> に掲載予定です。

●京都教育大学附属図書館ホームページはこちらから <http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページはこちらから <http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>

下記のQRコードからもアクセスできます



京教図書館 News No. 121 (2010年10月号)

発行日：平成22年10月1日

編集発行：京都教育大学附属図書館

内容に関するお問い合わせ先：library@kyokyo-u.ac.jp